

イー歯トープ 8020  歯と口のハテナ

⑫ 県歯科医師会

むし歯が進み、細菌感染が神経の通っている管（根管）に達し、歯髄（歯の神経）が死んでしまった歯は、神経を取って根管内の治療をすることがになります。リーマやフイルと呼ばれる細い針状の器具を使用し、根管から細菌に感染した神経や歯質を除去し、消毒していきます。

一般に、歯の根の治療は時間がかかるといわれていますがどうしてでしょうか？

まず治療に時間がかかる理由として、感染の程度が挙げられます。感染が少ない場合は1、2回で治療が終了しますが、感染が歯根の先の骨まで達し、膿

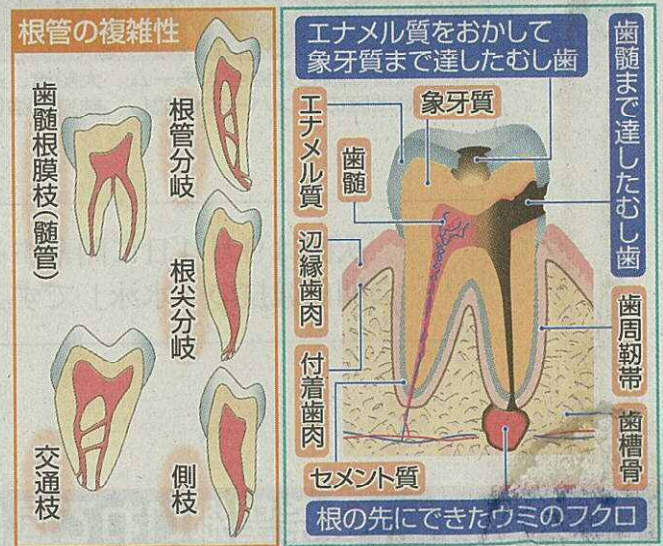
間隔空くと再感染も

がたまってしまった場合は感染した物質を除去し消毒するのに時間や回数が多くかかることがあります。

つぎに、歯根の形は様々でなく、歯の中の根管の形も複雑なことがあります。歯根の形は前歯、奥歯、上下で異なった形を

根の治療②

青木



てしまう要因のひとつです。

そのほか、治療時間が長くなるのは治療期間中に再感染を起してしまう場合です。治療の間隔が空きすぎると、根管内部の消毒剤の効果が薄れ、再度細菌が増殖し感染が進む可能性があります。また、十分な強度のない仮の蓋（詰め物）は、知らないうちに破折したり外れたりして、感染の程度を進める危険性もあります。痛みがなくなっても、治療途中で中断したり長期間の放置をしないように注意しましょう。



青木 一（あおき・はじめ） 1961年生まれ。岩手医科大学歯学部卒業。県歯科医師会学術医療管理委員会委員。青木歯科医院（洋野町）院長。洋野町在住。同町出身。

（月曜日に掲載します）